

学校だより

京都府立城陽支援学校

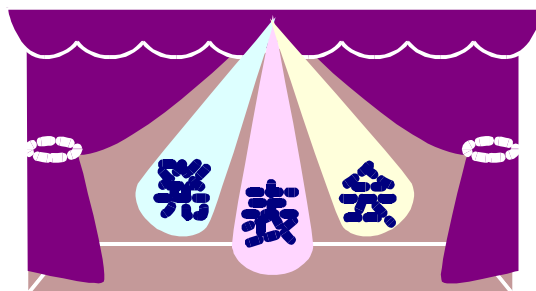
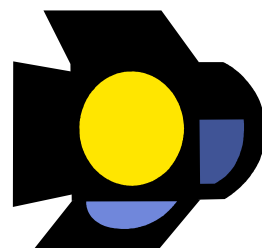
平成24年度第7号
平成24年12月20日発行
校長 久貝 佳弘
tel0774-53-7100
fax0774-53-4044

師走の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。
本校では2学期たくさんの行事や取組が行われました。その中から学習発表会、病弱教育部の募金活動、通学高等部のアル・プラザ城陽店で販売学習の様子を御紹介します。

学習発表会を終えて

11月2日(金)、3日(土)の2日に渡り学習発表会が行われました。通学高等部、病弱教育部、重心教育部のそれぞれの児童生徒が、日頃の学習の成果を存分に発揮し、とても素晴らしい発表会となりました。体育館でのステージ発表の部は、演劇や歌、楽器演奏、調べ学習等に工夫が凝らされ、内容が充実したものばかりで、会場の感動をよびました。

展示の部は、丁寧に制作された作品がならび、鑑賞する人も感心していました。通学高等部の作業実演や製品販売も保護者の方々をはじめ多くの人の関心が集まり、大盛況でした。同時に開催されたPTAバザーも同様に今年も盛況に終わりました。



みんなのつどい



ステージ発表



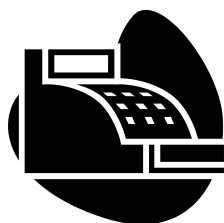
全校合唱

通学高等部 販売学習

11月18日（日）19日（月）の2日間、5月にリニューアルしたアル・プラザ城陽で販売学習を行いました。

1日目は2組、2日目は1組が、店長・副店長中心に縫製・木工・窯業のコースで製作した製品を販売しました。はじめは、みんな緊張していましたが、時間がたつにつれて、大きな声でお客様対応ができるようになりました。五大用語を意識して、「いらっしゃいませ」「ありがとうございました」と声を出したり、製品の用途を説明したりと積極的に販売していました。昼食以外に休憩時間はありませんでしたが、どの生徒も疲れを見せず、笑顔でさわやかに接客できていました。

今回の販売を通して、作る喜びや働く意味を感じ取ることができ、この後の作業学習への意欲も高まりました。これまでの学習の成果が発揮できた販売学習でした。



東日本大震災への義援金の御協力ありがとうございました。

11月19日（月）に城陽市社会福祉協議会の方に、本校に来ていただき、11月3日に学習発表会に来ていただいた保護者や地域の方、学校関係者の方に募金していただいたお金12,751円をお渡ししました。

病弱教育部中学部8名が、学習発表会で、宇治市での水害から震災のこと、震災後の助け合いと人の絆が深まったこと、自分たちの決意を含め学習したことの報告と、募金することに至った経過の話をしました。その後集まったお金を社会福祉協議会の方にお渡ししました。



社会福祉協議会の方からもお礼の言葉をいただき、職員の方がボランティアをされた時の東日本大震災や宇治の水害の写真を資料としていただきました。「震災後時日が経つにつれて忘れられていることや、城陽市としても継続して支援していること、まだまだ支援活動は必要」とのお話も伺いました。

今後も、今回の学習したことを活かし、人とのつながり「絆」を大切にしていきたいと思えます。